

「企業会計」の決算状況

病院事業

●収益的

・収入 125億6,939万円

・支出 126億9,150万円

●資本的

・収入 4億919万円

・支出 9億8,057万円

◇収益的収支が9年ぶりの赤字

入院・外来患者の減少などにより収益が伸び悩み、給与の引上げや看護師等の増員に伴う人件費の増加を上回る収益を確保できなかったことから、収益状況は約1億2,211万円の赤字となりました。

水道事業

●収益的

・収入 22億7,635万円

・支出 19億230万円

●資本的

・収入 3,235万円

・支出 9億4,765万円

◇収益的収支が16年連続の黒字

給水戸数及び工場使用量の増加に伴う水道料金収益の増加や、受水量の調整を図り受水費の基本料金の削減に努めたこと等により、約3億7,405万円の黒字となりました。

下水道事業

●収益的

・収入 39億7,539万円

・支出 38億5,007万円

●資本的

・収入 16億868万円

・支出 27億7,613万円

◇収益的収支が2年連続の黒字

接続世帯の増加による使用料収入の増加や、企業債償還利息の減少による費用の削減により、約1億2,532万円の黒字となりました。



半田市の財政を家計にたとえてみると

1か月の支出45万4千円(※)をまかなうのに、月収(市税など)や実家からの仕送り(国庫支出金、県支出金)など、46万7千円の収入がありました。

これからは家族の医療費(扶助費)や家の補修費用(維持補修費)の増加が見込まれるため、生活費(人件費、物件費など)を切り詰めるとともに、計画的に貯金(基金)を増やすことも考えなくてはなりません。

はんだ家1ヶ月の家計簿

※()は予算上の項目です。

収 入		支 出	
月収(給料、各種手当) (市税、地方交付税、地方譲与税ほか)	32万8千円	家族の医療費など (扶助費)	11万1千円
パートなどの副収入、資産活用、雑収入など (使用料、負担金、財産収入など)	3万2千円	ローンの返済 (公債費)	2万9千円
実家からの仕送り (国・県支出金)	9万円	生活費(食費、光熱費など) (人件費、物件費)	13万9千円
ローンの借入 (市債)	3千円	家の増改築、補修など (維持修理費、普通建設事業費)	4万8千円
先月の残り (繰越金)	1万4千円	家族への仕送り (繰出金、補助費)	10万3千円
合 計	46万7千円	貯金、その他雑費 (基金積立金など)	2万4千円
		合 計	45万4千円

※日本の一世帯当たりの平均所得月額46万7千円に、半田市の一般会計歳入歳出決算額に占める各費目の割合を乗じ、一般家庭に相当するそれぞれの額を算出しています。(参考:厚生労働省「平成29年国民生活基礎調査」)